

平成 29 年度（2017 年）
第 9 期 事業報告書

公益財団法人 HIOKI 奨学・緑化基金

第9期 事業報告

平成29年（2017年）4月1日から
平成30年（2018年）3月31日まで

※以降、文章中内においては西暦表記といたします。

当基金の2017年度事業は、関係各位の適切なご指導とご協力のもと円滑に追行し、無事、終了することができました。本事業報告においては、2017年4月1日から2018年3月31日までの第9期の事業を報告いたします。

奨学金事業においては、2016年度に募集地域を長野県内に拡大し、募集人員を30名としてから2年目となります。2017年度は、前年度より応募者数は微増となりましたが、中南信地域高校からの応募は減少しました。今後は奨学金事業について、中南信地域への広報を重点的に行い、多くの高校から応募いただくよう周知に努めます。

また、大学院進学者の研究時間確保のため、当基金の奨学生を対象に大学院奨学生の募集を行い2017年度大学院奨学生を決定、あわせて2018年度奨学生も決定いたしました。

植樹事業につきましては、1施設への苗木寄贈を実施いたしました。昨今は当基金で進めております「ふるさとの森づくり」が停滞傾向にあります。これにつきましては、今後の課題として、植樹事業を大きくとらえ、地域の皆さまの要望にお応えすることができるよう事業に取り組んでまいります。

INDEX

1. 事業活動

1. 奨学金事業報告 < 公益目的事業 1 >
2. 植樹事業報告 < 公益目的事業 2 >

2. 決算公告

第9期 財務諸表及び附属明細書並びに財団目録

3. 附属明細書

1. 事業活動

1. 奨学金事業報告 < 公益目的事業 1 >

-1. 奨学金事業実施状況と奨学金給付状況

(1) 奨学金事業の実施状況は下表のとおりです。

月 日	内容	明細
3月31日	2017年度奨学生 募集締め切り	応募：19 高校 /49 名 内訳：東北信 15 校 39 名、中南信 4 校 10 名
4月1日	2013年度奨学生 卒業証明書提出	
4月17日	2017年度奨学生 第1回 奨学生選考委員会 (第一次選考会議)	高校卒業時成績と小論文採点の結果から応募者 49 名のうち、43 名を第二次選考試験受験者に決定 内訳：東北信 12 校 35 名、中南信 3 校 8 名
	2013年度奨学生 卒業証明書確認	石田業務執行理事・事務局
	2014～2016年度奨学生 受給資格確認書・成績証明書提出	
5月7日	2017年度奨学生第二次選考	受験生 43 名 (筆記試験：国語・数学 / 面接試験)
	2014～2016年度奨学生 受給資格・成績確認	石田業務執行理事・事務局 * 2014年度奨学生 1 名：留年により奨学金給付の停止
5月10日	2017年度奨学生 第2回 奨学生選考委員会 (第二次選考会議)	第二次選考試験の結果から 2017年度奨学生 (候補者) 27 名を決定 内訳：東北信 10 校 21 名、中南信 2 校 6 名
5月16日	理事会 2017年度奨学生選考結果報告	選考委員会より報告 2017年度奨学生 27 名承認
	2014～2016年度奨学生の奨学金 受給資格確認結果報告	石田業務執行理事より報告
5月31日	評議員会 2017年度奨学生選考結果報告 2014～2016年度奨学生の奨学金 受給資格確認結果報告	2017年度奨学生選考結果と受給資格確認結果を石田業務執行理事報告 2017年度奨学生 27 名決定
	2014～2016年度奨学生奨学金給付	計 54 名 12,960,000 円 内訳 2014年度奨学生 13 名 2015年度奨学生 15 名 2016年度奨学生 26 名

6月15日	2017年度大学院奨学生募集	2013年度奨学生に案内送付 募集締切 7月17日 対象奨学生 12名のうち9名応募
6月30日	2017年度奨学生奨学金給付	計 27名 6,480,000円 内訳 2017年度奨学生 27名
7月24日	2017年度大学院奨学生 第1回大学院奨学生選考委員会 (第一次選考会議)	応募書類による選考 第一次選考会議により応募者全員(9名)を 第二次選考受験者とした。
8月19日	2017年度大学院奨学生 第2回大学院奨学生選考委員会 (第二次選考・選考会議)	選考委員による面接試験を実施 第二次選考会議により受験者全員(9名)を 大学院奨学生として採用
9月1日	2018年度大学院奨学生募集	2014年度奨学生に案内送付 募集締切 9月29日 対象奨学生 13名のうち8名応募
9月30日	2017年度大学院奨学生奨学金給付	計 9名 2,700,000円 内訳 2017年度大学院奨学生 9名 2017年4月～9月分(6か月分) 大学院奨学生 月 50,000円/人
10月21日	2018年度大学院奨学生 第一次選考、第二次選考及び選考会議	選考委員による応募書類の確認と面接試験 を実施 第二次選考会議により受験者全員(8名)を 大学院奨学生に決定
10月23日	2014～2017年度奨学生 受給資格確認書・成績証明書提出	
11月10日	2014～2017年度奨学生 受給資格・成績確認	石田業務執行理事・事務局
11月14日	理事会 2014～2017年度奨学生 受給資格確認結果報告 2017年度大学院奨学生選考結果報告 2018年度大学院奨学生選考結果報告 2018年度より大学奨学生給付額を月額 40,000円から50,000円に変更(案)	石田業務執行理事・事務局
11月29日	評議員会 2014～2017年度奨学生 受給資格確認結果報告 2017年度大学院奨学生選考結果報告 2018年度大学院奨学生選考結果報告 2018年度より大学奨学生給付額を月額 50,000円に変更を決定	石田業務執行理事・事務局

11月30日	2014～2017年度奨学生奨学金給付 2017年度大学院奨学生奨学金給付	内訳 2018年10月～2019年3月分 計 22,140,000円 大学生 計 81名 19,440,000円 2014年度奨学生 13名 2015年度奨学生 15名 2016年度奨学生 26名 2017年度奨学生 27名 大学院生 計 9名 2,700,000円 2017年度大学院奨学生 9名
12月上旬	長野県内高校へ 2018年度奨学生募集案内送付	
2018年 3月31日	2018年度奨学生募集締め切り	応募：21高校/58名 内訳：東北信12校36名、中南信9校22名

(2) 奨学金給付の明細は下表のとおりです。

奨学金給付明細（2014～2017年度奨学生）

1=円

	2014年度 奨学生 13名	2015年度 奨学生 15名	2016年度 奨学生 26名	2017年度 奨学生 27名	2017年度 大学院奨学生 9名	計
2014年5月	3,360,000	-	-			
2014年11月	3,360,000	-	-			
2015年5月	3,360,000	3,600,000	-			
2015年11月	3,360,000	3,600,000	-			
2016年5月	3,360,000	3,600,000	6,240,000			
2016年11月	3,360,000	3,600,000	6,240,000			
2017年5月	3,120,000※1.	3,600,000	6,240,000	6,480,000	2,700,000※2.	22,140,000
2017年11月	3,120,000	3,600,000	6,240,000	6,480,000	2,700,000	22,140,000

※1. 2014年度奨学生1名；単位不足留につき給付停止

※2. 2017年度大学院奨学生については、2017年9月30日に給付

-2.2014 年度奨学生（2018 年 3 月卒業生）進路状況

(1) 進路状況

	就職		進学等		奨学生数
	県内	県外	大学院	その他	
2006 年度奨学生	3 名	2 名	4 名	－	9 名
2007 年度奨学生	－	2 名	11 名	－	13 名
2008 年度奨学生	1 名	3 名	9 名	1 名	14 名
2009 年度奨学生	－	2 名	12 名	－	14 名
2010 年度奨学生	4 名	1 名	7 名	1 名	13 名
2011 年度奨学生	2 名	-	10 名	-	12 名
2012 年度奨学生	-	2 名	13 名	-	15 名
2013 年度奨学生	-	1 名	10 名	1 名※ 1.	12 名
2014 年度奨学生	2 名	1 名	8 名	2 名※ 2.	13 名

※ 1.2013 年度奨学生 その他の内訳 大学院入試に再挑戦するため

※ 2.2014 年度奨学生 その他の内訳 大学院入試再挑戦、就職活動のため

2014 年度奨学生の進路の明細

就職：県内 2 名 / 県外 1 名

進学：大学院 8 名（卒業大学への進学、8 名は引き続き大学院奨学生として支援）

その他：2 名（大学院進学のため在学 1 名、就職活動のため在学 1 名）

(2) 卒業アンケート

卒業にあたりアンケートを実施しております。アンケートより一部抜粋いたしました。

大学生活を振り返って

・前期教養の 2 年間は語学や理系の必須科目を中心に様々な科目を履修する中で、都市工学科への進学を決めるとともに、サークル活動をとおして科学教育などに興味を広げることができた。進学後は学科の演習や講義によって都市を見る目や考え方を養うことや、友人たちと自主的にプログラムを立案して実社会で実験的な試みを行うことなど、多くの有意義な経験を積むことができた。（東京大学卒業 / 大学院進学）

・最も重要視していた勉学を中心に、課外活動も含めてバランスよく充実した 4 年間だった。特に、いただいた奨学金を利用して学科の海外研修に参加したことは非常に大きな経験となった。これから修士課程 2 年間も、さらに研究とそれ以外の様々な体験を楽しんでいきたい。（東京大学卒業 / 大学院進学）

大学生活を振り返って

・大学ではおかげさまで学業に専念することができ、より深く学ぶことができました。また、様々な経験をとおして、成長できたと感じております。大学生活で培ったものをこれからの人生に活かしていきたいと考えております。本当にありがとうございました。(信州大学卒業 / 長野県外就職)

・数学の微分方程式論を4年次に学び、1年間で学びきるにはとても厳しい内容でしたが、方程式を使った振動の原理を理解することができ、とても興味をもち勉学に励むことができました。部活動では1～4年の間、演奏会すべてに出ることができ、忙しい4年次まで、たっぷり趣味に打ち込むことができ、とても充実した4年間を送ることができました。(富山大学卒業 / 長野県内就職)

・大学でも体育会系の部活動に所属し、貴重な経験と多くの学びを得ることができました。学業との両立もできていたと思います。様々なことを考慮した結果、もう1年在学し、就職活動を行うことを決断しました。後悔が無いように1年を過ごしたいと思っています。(大学院進学せず、もう1年在学し就職活動を行っています。部活動の最終戦と大学院試験の日程の重なりなどもあり、もう1年在学することを決断しました。)(横浜国立大学在学中)

-3. 大学院（修士課程 / 博士課程前期2年）奨学生の状況

(1) 2017年度大学院奨学生は9名です。

(2) 2017年度大学院奨学生研究経過報告書
進級にあたり、2017年度の研究経過の報告を受けております。

(3) 2018年度大学院奨学生は8名です。
2018年4月に大学院在学証明書の提出をもって正式採用といたします。

2. 植樹事業報告 < 公益目的事業 2 >

-1. 植樹事業実施状況

(1) 植樹事業の実施状況は下表のとおりです。

月 日	内容
2016年12月上旬	2017年度植樹及び苗木寄贈施設募集案内の送付
2017年4月27日	長野市立戸隠中学校 苗木寄贈（15本）
5月9日	HIOKI 新入社員どんぐり苗の植樹（25名参加：80本程度）
4月～10月	どんぐり苗 育苗（週2回育苗状態監視）
7月24日	植樹事業検討（評議員 田島氏・弓場氏、事務局）
8月8日	長野県上田地域振興局林務課訪問（植樹事業継続の方向を探る）
11月上旬	HIOKI フォレストヒルズの森 どんぐり採集
12月上旬	2018年度植樹及び苗木寄贈施設募集案内送付 長野県内市町村長、地方事務所地域環境整備（緑化推進）関係部署、 長野県教育委員会（教学指導課、高校教育課）へ送付
2018年3月5日	上田市立北小学校現地視察（ふるさとの森づくり説明） 詳細については6月に打合せ
3月28日	長野県上田地域振興局と打ち合わせ 森の里親促進事業について

(2) 2017年度植樹施設は下表のとおりです。

施設	長野市立戸隠中学校
月 日	4月27日（木）
面積	約700㎡
本 数	15本
参加人数	生徒15名、学校関係者3名
費用	9,200円
備考	緑化委員会の活動として 校庭に植樹



戸隠中学校植樹の様子

-2. 2018 年度植樹施設募集状況報告

2017 年 12 月初旬に 2018 年度植樹施設及び苗木寄贈先の募集を行いました。

下記のとおり申し込みをいただきました。各学校担当者と打ち合わせを行い、2018 年度に下記 2 施設への苗木寄贈を予定しております。

2018 年度植樹申込施設

申込施設	飯田市立遠山中学校	上田市立北小学校
実施月日	5 月 12 日 (土)	9 月中旬
面積	200 m ²	未 定
本 数	40 本	900 本～ 1,000 本程度
参加人数	全校生徒 + 教員 (約 50 名)	全校児童 (約 450 名) + 保護者
費用 (概 算)	約 20,000 円	苗木代約 500,000 円 + 肥料、チップなど
備 考	学有林学習の一環として植樹作業を行う、また学校統合 10 周年記念植樹としても実施したい。	北小学校創立 90 周年記念行事として児童からの希望により植樹祭を計画、実施予定。 ・ 3/5 (月) 北小学校現地確認 ・ 詳細は 6 月に打合せ予定

-3. どんぐり苗の育苗

2011 年秋から日置電機(株)周囲の森 (HIOKI フォレストヒルズの森) のどんぐり (コナラ、シラカシなどの実) を収集し、今後の育苗の参考事例として、育苗に取り組んでいます。2017 年も新入社員が HIOKI フォレストヒルズの森に苗木を植樹しました。

2. 決算公告

2017 年 (平成 29 年度) 決算公告として、第 9 期 (2017 年 4 月 1 日から 2018 年 3 月 31 日まで) 財務諸表及び附属明細書並びに財団目録を掲載いたします。

3. 附属明細書

2017 年度（平成 29 年度）第 9 期 事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」に規定する附属明細書「事業報告書内容を補足する重要な事項」に該当の事項はありません。

2018 年（平成 30 年）5 月
公益財団法人 HIOKI 奨学・緑化基金